

令和 2 年度再評価対象事業箇所 (事業採択後、一定期間(5~10年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト削減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業課案)	備考
	県営かんがい排水事業 佐賀西部高域地区 事業主体：県 事業地：佐賀市 小城市	本地区は佐賀平野の北西部に位置し、米・麦・大豆を中心とした土地利用型農業やいちご、きゅうり等の施設園芸が展開されている。 農業用水は中小河川と小規模のため池に依存していることから、小規模の干ばつ時でも農業用水が不足し営農に支障を来している。また地区内の用排水路は未整備(土水路)の地域があり、浚渫等の維持管理に多大な労力を有している。 このため、用排水施設の整備により農業用水の安定供給等を行い、担い手農家への農地集積による生産性の向上を図るとともに、農業経営の安定を目的とする。	本事業 事業費：2,053百万円 工期：H23~R5(13年) 受益面積：410.5ha 事業量 ・用水路(パイプライン) L=16,714m ・取水堰工 2箇所 ・用排水路(ライニング) L=15,082m	令和元年度末進捗率：59% (事業費ベース) (年平均進捗率：6%)	・受益面積は、事業採択時(平成23年)の420.3haから農地転用により現在は410.5haへ減少している。 ・当地区の受益地内における農家数は、平成23年の821戸に対し、現在は737戸へ減少している。	B/C = 1.27 費用対効果の要因の大きな変化なし。	(コスト削減) ・パイプライン工事における現場発生材やクラッシャーラン等の再生材を活用。 ・用排水路の整備は、コンクリート二次製品を活用し作業を省力化する。 (代替案の検討) ・特になし	事業採択後、10年間経過	継続 (理由) 当初から事業の必要性は変わっておらず、国営事業と一体となって事業効果を発現するものであることから事業を継続したい。	

